

1. オープンデータ実証実験

- 分野を超えたデータの流通・連携・利活用を効果的に行うために必要となる、①情報流通連携基盤共通APIの確立・国際標準化、②データの2次利用に関するルールの策定、③オープンデータ化のメリットの可視化等のための実証実験を札幌で実施。

2. オープンデータの産学官連携の推進

- 総務省は、産学官と連携して、①オープンデータに係る技術仕様の検討、②2次利用ルールの検討、③地方公共団体を対象とした地方創生に資するデータ活用を目的とした公募型実証事業等を実施。

3. 総務省保有情報のオープンデータ化

- データ保有機関の1つとして、他省庁のモデルとなる先行的な取組を実施。
 - ・情報通信白書、情報通信統計データベースのオープンデータ化(自由な利用条件の採用、CSV化)
 - ・統計におけるオープンデータの高度化(APIの提供等)